



中村女子高等学校 学校だより 4月号

4月17日発行

URL:<https://www.y-nakamura.jp/>

EL 083-922-0418

文責 鶴永幸彦

一步先の未来へ向けて 虹光(さいこう)に輝く自分をつくる

令和5年度末人事異動により、12名の者が転退職し、新たに12名の者が中村女子高等学校に教職員として赴任して来ました。前任者同様に、中村女子高等学校の生徒、保護者、地域や社会のため誠実、真摯に全力で取り組みますので、どうぞよろしくお願い致します。

中村女子高等学校は本年度創立158年目を迎えました。その長い歴史と女子教育の先駆けとして由緒ある伝統を大事に、未来の社会、次代を担っていく立派な若者を育てていければと思っています。さて、生徒たちが活躍する未来社会は、変化が激しく、予測困難な上、ソサイエティ5と呼ばれAI(人工知能)が普及し、IOT(モノのインターネット)が急速に進化し、すべてのモノがインターネットでつながり操作性が格段に上昇すると言われています。

そうした社会では、決まった一つの正解はなく、多様な他者とコミュニケーションを重ね、より適切な解を求めていく過程が重要になりますし、自分の考えや意見を持ち、積極的に発言、発信していく態度も重要になります。

本校は、創立当初から進歩的な考え方にたち、新しい次の時代にふさわしい学問技術の獲得に励むとともに、情操豊かで礼儀正しく、明朗で実践力に富む女性の育成に取り組んできた経緯があります。そうしたことから、今年度学校スローガンを「一步先の未来へ向けて 虹光(さいこう)に輝く自分をつくる」として、教職員一丸となって生徒たちの支援、指導に取り組んで参ります。どうか、本校の教育に対するご理解とご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

学年・学級・教科担当一覧

下の表は、学年・学級担当を示しています。

校長：鶴永幸彦、教頭：久保田幸代、事務長：松富令子、教務主幹：世良葉子

生徒指導部主幹：吉中伸治、ICT教育推進部主幹：河村賢一、養護教諭：西村友紀子

		高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年
普通科	進学コース	國吉孝志	矢川康一	茅壁潤	秋山千登勢	福江裕子
	ファッションデザインコース		河杉翼	大草祥史		
看護科1組		宮崎優香	藤木ひすい	林由里子	/	/
調理科1組		中村英里子	橋本浩美	喜志多依子		
福祉科	福祉コース	川添唯	田中瑞雄	中嶋祥子		
	保育コース		藤川知子	角野寿恵		
商業科1組		山田和人	岡聖子	有近富美子		
副担任		吉中伸治	岸美砂子	世良葉子		
		飯塚正己	吉松洋介	二瀬志保		
		小山田哲也	河村賢一	宮田篤		
		西村友紀子	山本真佐代	糸野史竜		
		多和田真莉菜	※アンダーラインは学年主任			

裏面に続く

始まりの4月 主な行事

別れの3月から、出会い始まりの4月になりました。離・着任式、始業式、入学式、対面式と行事も一段落しました。通常モード、授業中心の普通の日常が流れていきます。何事も最初が肝心と言います。規則正しく、計画的に過ごしたいものです。

日	曜	内 容
8	月	離・着任式・始業式・入学式 入寮式
9	火	対面式、1年オリエンテーション 専攻科始業式
10	水	1年歓迎テスト

日	曜	内 容
12	金	地区集会
18	木	尿検査、歯科検診
19	金	専門委員会、尿検査、歯科検診 戴帽式
25	木	身体測定、新体力テスト

出合いを大事に、ご縁を生かせると幸せに近づく

ドイツの哲学者カントは、「人は人によりてのみ人となり得べし、人より教育の結果を取り除けば無とならん」という言葉を残しています。教育や指導は優しさだけではなく、時として厳しさが必要な場合もあります。どう受け止めることができるか、人の成長は素直さと謙虚さによる面もあり、奥が深いです。全ては、子供たちの輝く未来と幸せのため。

自分の価値で
人を責めない
一つの失敗で
すべてを否定しない
長所を見て
短所だけを見ない
心を見て
結果だけを見ない
そうすれば
必ず人は集まってくる

吉田松陰先生のことば

4月2日 教育者の願い

子どもが自分の期待通りに
行動したとき褒めるのではなく、
その子なりに頑張って
成長したとき褒めるのが教育者、
子どもが
自分の思い通りに育つことではなく、
その子らしく育つことが
教育者の願いなのです。

「こころの深呼吸」片柳弘史 著

いい本は人生を豊かにしてくれる

長い人生には、思うようにいくことも多々ありますが、往々にしてつまづくことも時としてあります。つまずいてもすぐに立ち直れるようであればいいですが、悶々と悩む状況もあつたりします。そうしたときどのように気分を転換するかが重要になります。下の本はそうした、悩ましい気分を転換するヒントにもなります。



『さいはての彼女』 原田マハ 著 角川文庫

女性が主人公の短編が4つ収録されています。そのうち最初と最後の物語は、関連があります。どれも、主人公の女性が現実に閉塞感や挫折を感じて、悶々としている中、旅に出ることにより、そこで出会った人びととの関わり、風景により、心のしこりが解きほぐされ、新たな決意とともに、再出発のため動き出すことがテーマになっています。勇気と元気が出ます。